

令和9年度（令和8年度実施）宮崎県公立学校教員採用選考試験実施要項

宮崎県教育委員会

■ 宮崎県では、このような教師を求めています！ ■

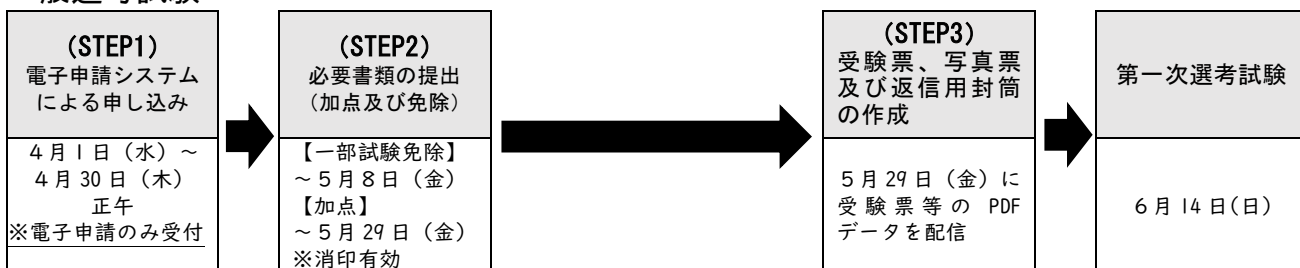
- ◎ 子どもに対する愛情と教育に対する情熱・使命感をもち、子どもとの信頼関係を築くことができる。 **【愛情と情熱・使命感】**
- ◎ 分かりやすい授業を行い、子どもに確かな学力を育成するなど高い専門性を身に付けている。 **【高い専門性】**
- ◎ 社会人としての幅広い教養と良識や倫理観、心の豊かさを身に付けている。 **【幅広い社会性、倫理観、人間性】**
- ◎ 絶えず学び続け、自らの資質能力を高めている。 **【学び続ける姿勢】**

■ 出願から試験までの流れ ■

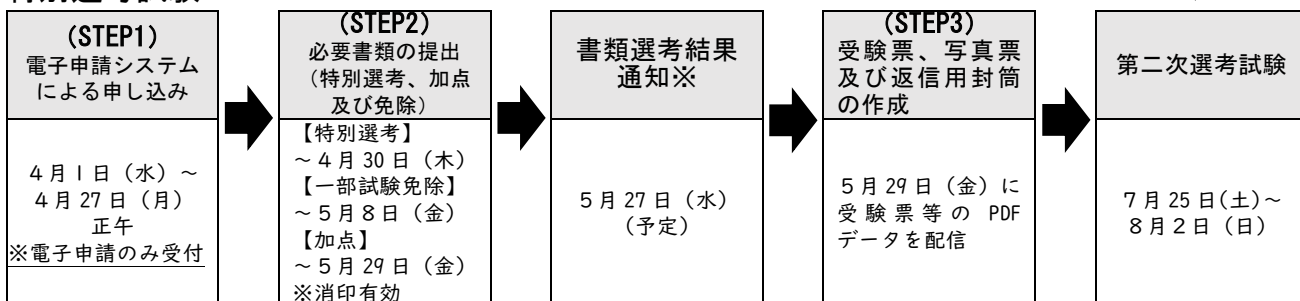
必ず電子申請をしてね！！



一般選考試験



特別選考試験



※書類選考合格者は第二次選考試験から受験、不合格者は第一次選考試験から受験

■ 今年度の主な変更点 ■

- 募集時期等の変更（15ページ参照）**
募集時期や申請方法を変更しました。
- 併願受験について（3ページ参照）**
新たに、併願が可能な受験区分、教科が増えました。
- 小学校教諭等（全教科、特別支援）における英会話の廃止**
小学校教諭等（全教科、特別支援）の第二次選考試験における英会話を廃止しました。
- 一部教科の問題共通化（5ページ参照）**
中学校教諭等及び高等学校教諭等の一部の教科等について、専門試験を共通問題（学習指導要領からの出題等、一部、校種別の問題）としました。
- キャリアチェンジに伴う免許取得のための採用猶予規定について（2,17ページ参照）**
キャリアチェンジに伴いこれから免許を取得する方向けの採用猶予規定を設けました。



学校の先生は、宮崎や日本、さらには世界の将来を担う子どもたちの夢の実現を支援し、社会を生き抜く力を育みながら、その可能性を未来に広げ、繋げていくやりがい満ちた職業です。

また、郷土に対する愛着と誇りを持ち、豊かな社会性やたくましく生きる力、新しい価値を創造する知恵、変化や困難に挑戦する行動力を身に付けた未来の宮崎を担う人財を育む期待も高まっています。

このような中、本県では宮崎県教育振興基本計画に示す「多様性を認め合い、一人一人を大切にする教育の推進」「次代へ向けて学び続ける子供たちを育む教育の推進」「ふるさとへの誇りと愛着を持ち、世界を視野に活躍する人材の育成」など7つの基本目標に基づき、本県教育の更なる充実に取り組んでいます。

共に「未来を切り拓く 心豊かでたくましい 宮崎の人づくり」に取り組んでいきましょう

宮崎県教育委員会教育長

目次

1	選考区分、受験区分及び教科（科目）等	P 1
2	受験資格	P 2
3	併願受験	P 3
4	採用選考試験フローチャート	P 4
5	選考試験	
	第一次選考試験	P 5
	(1) 一般選考試験	P 5
	日程	P 6
	配点、加点制度	P 7
	一部試験免除	P 9
	(2) 特別選考試験	P 10
	第二次選考試験	P 14
6	出願手続等（一般選考試験、特別選考試験）	P 15
7	選考結果の通知	P 16
8	補欠制度	P 16
9	大学院修士課程等在籍者又は進学者に対する採用猶予	P 17
10	キャリアチェンジに伴う免許取得のための採用猶予	P 17
11	妊娠者に対する採用猶予	P 17
12	問合せ先	P 17

宮崎県公立学校教員の採用候補者を選考するために、選考試験を次のとおり実施します。

1 選考区分、受験区分、教科（科目）等

(1) 一般選考試験

受験区分	教科（科目）等
小学校教諭等	全教科、英語、特別支援
中学校教諭等	国語、社会、数学、理科、音楽、美術、保健体育、技術、家庭、英語
高等学校教諭等	国語、地理歴史(日本史、地理)、公民、数学、理科(物理、化学、生物、地学)、保健体育、芸術(音楽、書道)、英語、家庭、情報、農業(栽培、畜産、食品、土木・林業)、工業(機械、電気・電子、建築、工業化学、インテリア)、商業、水産(機関)
特別支援学校教諭等	知的他（知的障がい者、肢体不自由者、病弱者、視覚障がい者、聴覚障がい者）に関する教育の領域 音楽、美術
養護教諭	

(2) 特別選考試験（詳細は、5 選考試験(2) 特別選考試験（P 10～）を参照してください。）

	特別選考の名称等	採用予定者数
①	スポーツの分野に係る特別選考試験 対象となる競技種目 水泳（競泳）、ウエイトリフティング、ハンドボール、ソフトテニス、相撲、フェンシング、バドミントン、カヌー	一般選考試験の採用予定者数の外数とする。
②	芸術の分野に係る特別選考試験	一般選考試験の採用予定者数の内数とする。
③	他県現職教員、他県元教員及び本県元教員を対象とした特別選考試験	
④	障がいのある者を対象とした特別選考試験	
⑤	大学卒業予定者を対象とした特別選考試験	
⑥	大学院修了予定者を対象とした特別選考試験	
⑦	宮崎大学教育学部(小中一貫教育コース小学校主免専攻)地域枠選考試験	
⑧	社会人を対象とした特別選考試験A	
⑨	社会人を対象とした特別選考試験B	
⑩	博士号取得者を対象とした特別選考試験	

(3) (1)、(2)に関する留意事項

- ア 各教科（科目）等の採用予定者数については、令和8年3月上旬頃に県庁ホームページにて公表を予定しております。
- イ 「教諭等」には、任用の期限を付さない常勤講師を含んでおり、日本国籍を有しない者は、任用の期限を付さない常勤講師として任用します。
- ウ 採用後の人事異動により、採用時に配置された学校種とは異なる校種へ異動となる場合があります。
- エ 原則として、小学校教諭等英語の採用者は、専科教員（その教科のみ教える教員）などとして外国語活動を中心とした業務に携わることになります。ただし、赴任先の状況により通常の学級担任となる場合もあります。
- オ 原則として、小学校教諭等特別支援の採用者は、特別支援学級の学級担任として特別支援教育を中心とした業務に携わることになります。ただし、赴任先の状況により通常の学級担任となる場合もあります。
- カ 特別支援学校教諭等音楽・美術の採用者は、専科教員（その教科のみ教える教員）として採用するものではありません。

2 受験資格

次の各号の全てに該当する者とします。

(1) 全ての受験者に共通する受験資格要件

- ア 地方公務員法第16条(欠格条項)及び学校教育法第9条(欠格事由)に該当しない者
- イ 受験年齢に関しては、昭和42年(1967年)4月2日以降出生の者
- ウ 令和8年12月25日までに施行予定の学校設置者等及び民間教育保育等事業者による児童対象性暴力等の防止等のための措置に関する法律第2条第7項に定める特定性犯罪の前科がない者(同法に基づく犯罪事実確認を内定者に対して実施します。)

(2) 試験区分別の以下の普通免許状を所有する者又は令和9年3月末までに取得見込みの者 ※1、2

受験区分	免許等
小学校教諭等全教科	小学校普通免許状
小学校教諭等英語	小学校普通免許状及び中学校又は高等学校の英語の普通免許状
小学校教諭等特別支援	小学校普通免許状及び特別支援学校普通免許状 ※3、4
中学校教諭等	受験教科の普通免許状
高等学校教諭等(水産(機関)除く)	受験教科の普通免許状
高等学校教諭等水産(機関)	高等学校水産又は高等学校商船の普通免許状
特別支援学校教諭等知的他	特別支援学校普通免許状及び小学校、中学校、高等学校教諭のいずれかの普通免許状 ※3、4
特別支援学校教諭等音楽	特別支援学校普通免許状及び中学校又は高等学校の音楽の普通免許状 ※3、4
特別支援学校教諭等美術	特別支援学校普通免許状及び中学校又は高等学校の美術の普通免許状 ※3、4
養護教諭	養護教諭免許状

※1 「社会人を対象とした特別選考試験B」、「博士号取得者を対象とした特別選考試験」の場合を除きます。

※2 教員としての在籍年数と単位修得により、免許状を取得見込みの者は、令和9年3月末日までに取得できるかどうかについて、免許申請を考えている都道府県の教員免許担当課にお尋ねください。会計年度任用講師の場合は、日数の計算が異なる場合があります。

※3 特別支援学校普通免許状とは、特別支援教育領域である「知的障がい者に関する教育の領域」、「肢体不自由者に関する教育の領域」、「病弱者に関する教育の領域」、「視覚障がい者に関する教育の領域」、「聴覚障がい者に関する教育の領域」のうち1つ以上のもの

※4 特別支援学校教諭等において、盲学校普通免許状、聾学校普通免許状、養護学校普通免許状を所有している者は、それぞれ、「視覚障がい者に関する教育の領域」、「聴覚障がいに関する教育の領域」、「知的障がい者に関する教育の領域」・「肢体不自由者に関する教育の領域」・「病弱者に関する教育の領域」に係る特別支援学校普通免許状を所有していることとみなします。

【キャリアチェンジに伴う免許取得のための採用猶予規定】

本人の申出により、以下の要件を満たす者には、(2)の免許取得期限を令和12年3月末までとすることが可能です。

- ① 令和9年3月末までに、受験区分(教科等)の普通免許状を所有しておらず、隣接校種の普通免許状(例1：小学校教諭等を受験する場合は幼稚園教諭又は中学校教諭の普通免許状、例2：中学校教諭等国語を受験する場合は小学校教諭又は高等学校教諭国語の普通免許状)を所有している者
- ② 小学校教諭等全教科・英語・特別支援、中学校教諭等国語・理科・美術・音楽・技術・家庭を一般選考試験で受験する者

※ ①及び②の要件を満たし、採用猶予を希望する者は、電子申請システムによる申込みで猶予希望を「希望有り」としてください。
 ※ 第2次選考試験の際に要件の確認を行いますので、第1次選考試験の合格者に必要書類をお伝えします。

【チラシ】



3 併願受験

(1) 併願が可能な受験区分

第1希望 \ 第2希望		小学校教諭等			中学校教諭等					高等学校教諭等
		全教科	英語	特別支援	国語	理科	音楽	技術	家庭	家庭
小学校教諭等	全教科	—	—	—	○	—	—	○	—	—
	英語	○	—	—	○	—	—	○	—	—
	特別支援	○	—	—	○	—	—	○	—	—
中学校教諭等	英語	○	○	—	—	—	—	○	—	—
	家庭	○	—	—	—	—	—	○	—	○
	それ以外の教科	○	—	—	—	—	—	○	—	—
高等学校教諭等	国語	—	—	—	○	—	—	○	—	—
	理科	—	—	—	—	○	—	○	—	—
	芸術（音楽）	—	—	—	—	—	○	○	—	—
	芸術（書道）	—	—	—	○	—	—	○	—	—
	家庭	—	—	—	—	—	—	○	○	—
	それ以外の教科	—	—	—	—	—	—	○	—	—
特別支援学校教諭等	知的他、音楽、美術	○	—	○	—	—	—	○	—	—

※ 第1希望、第2希望それぞれの受験区分・教科を受験するのに必要となる普通免許状を所有する者（取得見込みも含む）は併願が可能です。（2 受験資格P2を参照）

※ 第一次選考試験で第1希望と第2希望の両方に合格した場合は、第二次選考試験において、第1希望の受験区分のみで「模擬授業」を受験することとし、第1希望の得点により第2希望の可否を判定します。

※ 第1希望、第2希望のどちらかに英語を含む場合は、第二次選考試験で英会話の試験を実施します。

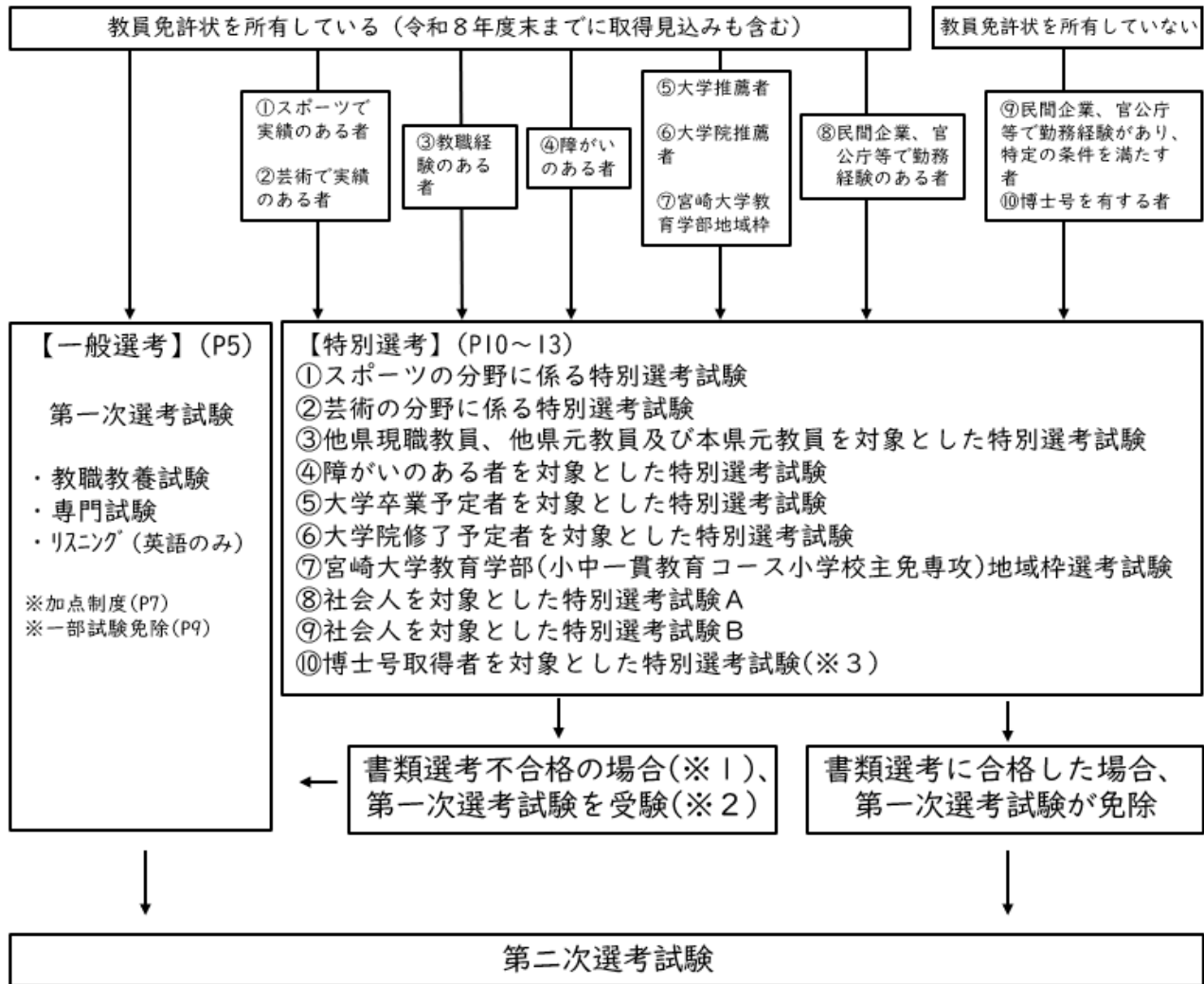
※ 中学校教諭等英語又は高等学校教諭等英語の受験者でリスニング試験を受験する者は中学校教諭等技術を併願することはできません。

(2) 併願における第一次選考試験専門科目の受験内容（教職教養除く）

第1希望	第2希望	試験時間（6ページ参照）		
		専門 小学校全教科	小特 専門1	リスニング 専門2※
小学校教諭等英語	小学校教諭等全教科	○	—	リスニング
小学校教諭等特別支援	小学校教諭等全教科	○	小特	—
中学校教諭等	小学校教諭等全教科	○	第1希望教科	—
高等学校教諭等国語 高等学校教諭等芸術（音楽） 高等学校教諭等家庭 中学校教諭等家庭	中学校教諭等国語 中学校教諭等音楽 中学校教諭等家庭 高等学校教諭等家庭	—	第1希望教科	—
小学校教諭等全教科	中学校教諭等国語	○	第2希望教科	—
小学校教諭等英語	中学校教諭等国語	○	第2希望教科	リスニング
小学校教諭等特別支援	中学校教諭等国語	○	小特	第2希望教科
高等学校教諭等芸術（書道）	中学校教諭等国語	—	第1希望教科	第2希望教科
高等学校教諭等理科	中学校教諭等理科	—	第1希望教科	第2希望教科
特別支援学校教諭等	小学校教諭等全教科	○	第1希望教科	—
特別支援学校教諭等	小学校教諭等特別支援	○	特別支援 小特	—
小学校教諭等全教科	中学校教諭等技術	○	第2希望教科	—
小学校教諭等英語	中学校教諭等技術	○	第2希望教科	リスニング
小学校教諭等特別支援	中学校教諭等技術	○	小特	第2希望教科
中学校教諭等（技術除く） 高等学校教諭等 特別支援教諭等	中学校教諭等技術	—	第1希望教科	第2希望教科

※特別選考試験で第1希望が合格している場合は、第2希望教科を専門1の時間に受験となります。

4 採用選考試験フローチャート



※1 特別選考試験の書類選考で不合格の場合、別途、一般選考試験へ出願する必要はありません。

※2 ⑨、⑩の特別選考試験において、書類選考で不合格となった受験者のうち教員免許状を所有していない者は、一般選考の第一次選考試験を受験することはできません。

※3 ⑩の特別選考試験は教員免許状を所有している者も受験可能です。

5 選考試験

選考試験は、第一次選考試験（一般選考試験、特別選考試験）、第二次選考試験があります。

第一次選考試験

(1) 一般選考試験

① 期日

令和8年6月14日（日） ※予備日 令和8年6月21日（日）

② 試験会場

地域		会場	所在地
宮崎会場		宮崎大宮高等学校	宮崎市神宮東1-3-10
		宮崎南高等学校	宮崎市月見ヶ丘5-2-1
県外会場	東京会場	三州郷土館	品川区上大崎一丁目20番27号
	大阪会場	大阪マーチャンダイズマートビル（OMMビル）	大阪府中央区大手前1丁目7-31
	福岡会場	西南学院大学	福岡市早良区西新6-2-92

ア 受験会場は受験票で確認してください。

イ 小学校教諭等英語、中学校教諭等英語及び高校教諭等英語を受験する者は県外会場では受験できません。ただし、リスニング試験免除の受験者は、県外会場でも受験できます。

ウ 併願受験する者のうち、第2希望が中学校教諭等理科又は中学校教諭等技術（第1希望を小学校教諭等全教科の場合は除く。）並びに第1希望が小学校教諭等特別支援又は高等学校教諭等芸術（書道）で第2希望が中学校教諭等国語の者は県外会場では受験できません。ただし、特別選考試験を受験し、第1希望が合格している場合は、県外会場でも受験できます。

エ 会場への連絡は原則としてできません。当日に緊急事態があり、会場への連絡を必要とする場合には、受験票と併せて配信する「受験上の留意事項」に記載の電話番号にお願いします。

オ 台風等により試験実施が困難となった場合は、全地域の会場・日程や開始時刻を変更することがあります。その場合、原則として、試験前日の午後までに登録いただいたメールアドレスにメールを送付する予定ですので、確認をしてください。ただし、急な自然災害等が起きた場合は、試験当日にメール及び県庁ホームページで連絡します。

③ 試験内容

ア 筆答試験

「教職教養」の試験及び「専門」の試験を実施します。

(ア) 「教職教養」の試験は、教育関係法規、教育原理、教育心理、特別支援教育、道德教育、国の教育施策、本県の教育・歴史・文化等に関すること等、教職全般に関する内容（学習指導要領を含む。）とします。

(イ) 「専門」の試験については、受験区分の教科（科目）等に関する内容（学習指導要領を含む。）とします。

(ウ) 中学校教諭等と高等学校教諭等の以下の教科等について専門試験は共通問題となります。ただし、学習指導要領からの出題等、一部、校種別の問題とします。

共通問題：国語、数学、音楽、美術、保健体育、家庭、英語

(エ) 高等学校教諭等地理歴史・理科・工業・農業・水産については、当該科目のほか、同一教科の各科目にわたる内容も出題します。

(オ) 特別支援学校教諭等音楽・美術については、特別支援学校教諭等知的他と同じ内容とします。

イ リスニング試験

小学校教諭等英語、中学校教諭等英語及び高等学校教諭等英語（併願希望者を含む。）については、英語リスニングを実施します。

④ 第一次選考試験当日に持参すべきもの等

受験区分	持 参 物
受験者全員	受験票、写真票（縦4.0cm×横3.0cmの写真を貼付）、返信用封筒（「受験上の留意事項」に則って作成）、鉛筆（シャープペンシル可）、定規、コンパス、消しゴム、時計（計算や通信機能があるもの不可）、上履き（県内会場のみ）、靴入れ用ビニール袋等（県内会場のみ）
高等学校教諭等工業（機械、電気・電子）	電卓（関数機能付き）
高等学校教諭等工業（建築、工業化学、インテリア） 商業、水産（機関）	電卓（関数機能可）

⑤ 日程

受験区分・教科等		9:00	9:20	10:20	10:35	10:55	11:45	12:45	13:05	13:30	14:15	14:30	14:50	15:20	16:00
小	全教科※Ⅰ	諸 注 意	専 門 小学校全教科 60 分	休 息	諸 注 意	教職教養 50 分 (該当者のみ)	昼 食	諸 注 意	小特 25 分	専 門 Ⅰ 70 分 ※ 3	休 息	諸 注 意	リスニング 30 分		
	英語														
	特別支援														
中	英語以外※Ⅰ	諸 注 意	専 門 小学校全教科 60 分	休 息	諸 注 意	教職教養 50 分 (該当者のみ)	昼 食	諸 注 意	専 門 Ⅰ 70 分 ※ 3	休 息	諸 注 意	リスニング 30 分			
	英語以外 (小学校併願)														
	英語														
	英(小英併願)														
特 支	知・音・美	諸 注 意	専 門 小学校全教科 60 分	休 息	諸 注 意	教職教養 50 分 (該当者のみ)	昼 食	諸 注 意	専 門 Ⅰ + 小特 85 分	休 息	諸 注 意	リスニング 30 分			
	知・音・美 (小全併願)														
	知・音・美 (小特併願)														
高	英語	諸 注 意	専 門 小学校全教科 60 分	休 息	諸 注 意	教職教養 50 分 (該当者のみ)	昼 食	諸 注 意	専 門 Ⅰ 70 分	休 息	諸 注 意	リスニング 30 分			
	英語以外※Ⅰ														
	国・音・家 (中国・音・家併願)														
養護教諭												休 息	諸 注 意		
中学校教諭等国語・理科・技術併願※2												休 息	諸 注 意	専 門 2 中学(国語・理科・技術) 70 分	

※1 英語受験者でリスニング試験免除の者を含む。

※2 併願受験する者のうち、第2希望が中学校教諭等理科又は中学校教諭等技術（第1希望を小学校教諭等全教科の場合は除く。）並びに第1希望が小学校教諭等特別支援又は高等学校教諭等芸術（書道）で第2希望が中学校教諭等国語の者は、専門2の時間 14:50～16:00 で専門試験を実施する。

※3 併願受験する者のうち、第1希望が小学校教諭等（特別支援除く）で第2希望が中学校教諭等技術の者は、専門Ⅰの時間（13:05～14:15）で中学校教諭等技術の専門試験を実施する。

◆受付時間◆

試験日程及び会場図等を配布しますので、各自が最初に受験する受験区分・教科等の諸注意開始時刻の30分前～10分前までには受付にお越しください。受付後は、係員の指示に従って各試験室に移動してください。集合場所等の詳細は、受験票と併せて配信する「受験上の留意事項」を御確認ください。

◆控室◆

受付開始時刻前の控室はありません。控室が利用できるのは、県内会場の併願受験者やリスニング試験受験者で試験間の待機時間が発生する方のみです。

◆昼食について◆

試験中は会場から外出できませんので、必要に応じて飲み物や昼食等の準備をしてください。

⑥ 第一次選考試験の配点等

ア 評価する観点

(ア) 筆答試験（教職教養及び専門）

- α 教員として必要な教職教養や受験教科等の専門分野について、学習指導要領に則った問題を中心にしながら、国や県の教育施策等に関する内容等も盛り込み、幅広い識見を評価します。
- β 専門的な知識、教員としての能力、適性等を総合的に評価します。

(イ) リスニング試験

専門的な知識、必要な専門的技能を総合的に評価します。

イ 受験区分ごとの配点

内容	小学校			中学校		高等学校		特別支援 学校	養護 教諭
	全教科	英語	特別支援	英語以外	英語	英語以外	英語		
教職教養	50点	50点	50点	50点	50点	50点	50点	50点	50点
専 門	100点	100点	100点	100点	70点	100点	70点	100点	100点
リスニング		30点			30点		30点		
※ 専門(小特)			30点						
合 計	150点	180点	180点	150点	150点	150点	150点	150点	150点

※ 専門（小特）・・・小学校教諭等特別支援の受験区分においては、小学校教諭等の「専門」に加え、小学校における特別支援教育の「専門」を実施します。

ウ 加点制度（特定免許・資格等を所有する者の加点申請制度）

次に示す免許や資格を所有する者で、加点を希望する者は、電子申請システムで加点を希望し、根拠書類を令和8年5月29日（消印有効）までに提出してください。書類の提出がない場合又は不備がある場合は加点を行いません。

	加点項目	加点対象校種及び加点				根拠書類
		小	中	高	特	
①	司書教諭資格を所有する者（見込不可）	4点	4点	4点	4点	修了証明書の写し
②	中学校免許状（英語）又は高等学校免許状（英語）を所有する者（見込可、①との併用不可）	4点	—	—	—	免許状の写し又は免許状取得見込証明書
③	特別支援学校免許状を所有する者（見込可）	8点	8点	8点	—	
④	小学校免許状を所有する者（見込可）	—	4点	—	—	
⑤	中学校免許状（英語、技術の免許を除く）を所有する者（見込可）	4点	—	—	—	
⑥	中学校免許状（音楽、美術、家庭）のいずれかを所有する者（見込可）	—	4点	—	—	
⑦	中学校免許状（技術）を所有する者（見込可）	8点	8点	8点	—	
⑧	「情報」の免許状を所有する者（見込可）	—	—	8点	—	
⑨	高等学校免許状（情報以外）を所有する者（見込可） * 「情報」受験者が対象	—	—	4点	—	実施団体又は資格認定協会が発行する証明書の写し
⑩	知的障がい者、肢体不自由者、病弱者に関する教育の領域のうち1つの免許状を所有し、かつ、視覚障がい者又は聴覚障がい者に関する教育の領域の免許状を所有する者（見込可）	—	—	—	4点	
⑪	英検2級などのCEFR B1相当以上の英語力を有する者（②との併用不可） * 「小学校英語」受験者を除く	4点	—	—	—	
⑫	英検準1級などのCEFR B2相当以上の英語力を有する者（⑬との併用不可） * 「小学校英語・中学英語」受験者が対象	4点	4点	—	—	資格証明書（開封無効）又は資格を証明できる書類の写し
⑬	英検1級などのCEFR C1相当以上の英語力を有する者（⑫との併用不可） * 「中学英語・高校英語」受験者が対象	—	8点	8点	—	
⑭	情報処理推進機構（IPA）が実施する情報処理技術者試験・基本情報技術者試験合格者又は同機構が認定するこの資格と同等以上の資格取得者	4点	4点	4点	4点	3級以上の海技士（航海又は機関）の海技免状の写し
⑮	3級以上の海技士（航海又は機関）の海技免状を所有する者 * 「水産」受験者が対象	—	—	8点	—	

※ 申請可能な加点の合計点は24点を上限とします。

※ 免許状の種類（専修、一種、二種）は問いませんが、特別免許状及び臨時免許状は除きます。

(ア) 受験資格となる免許状は加点の対象となりません。（例：表中③小学校教諭等特別支援の受験者に、「特別支援学校免許状を所有する者」の加点は該当しない。このほか、②⑤⑥⑦⑧も同様。）

(イ) CEFRについては文部科学省の示すCEFR対照表をご確認ください。

(ウ) 加点申請は、第1希望のみ可能となります。

(エ) 改姓等により証明書等の氏名が現在と異なる場合は、氏名の変更が確認できる書類（戸籍謄本、戸籍抄本等）も併せて提出してください。

(オ) 大学が免許状取得見込証明書を発行できない場合には、大学から教職員課までお問い合わせください。

(カ) 免許状取得見込証明書の提出者のうち内定通知を受けた者は、「免許状」の写しを令和9年3月末までに提出してください。提出できない者や虚偽の内容を申請した者は採用内定後であっても内定を取り消すことがあります。免許状取得が難しい状況になった場合は必ず教職員課人材育成担当（0985-26-7241）まで連絡すること。

エ その他

第一次選考試験の得点結果は、第二次選考試験の選考には反映されません。ただし、第二次選考試験の結果が同点の場合は、第一次選考試験の得点結果を第二次選考試験の選考に反映します。

⑦ 第一次選考試験実施上の注意事項等

ア 特別な場合を除いて、受験しなければならない試験を欠席した場合は、不合格とします。

イ 筆答試験途中での退席は、原則として認めません。

ウ 試験会場では、携帯電話、パソコン、スマートフォン、スマートグラスやスマートウォッチ等のウェアラブル端末、電子辞書、ICレコーダー等の電子機器は使用できません。

エ 服装については、クールビズとします。上着、ネクタイ等を着用する必要はありません。

オ 試験会場や近隣の公的機関及び商業施設等の駐車場は使用できません。公共の交通機関を利用してください。送迎の場合、会場周辺での乗降は、交通渋滞のおそれがあるため避けてください。

⑧ 受験上の一部試験免除

第一次選考試験における以下の各試験の免除を希望する者は、電子申請システムで希望し、根拠書類を令和8年5月8日（消印有効）までに提出してください。書類の提出がない場合又は不備がある場合は一部試験免除を行いません。

対象者	免除に係る条件	根拠書類	免除内容
臨時的任用講師等	<p>令和3年度から令和7年度までの5年間のうち、通算24月以上、本県において、臨時的任用講師、会計年度任用講師又は養護助教諭として勤務経験がある者並びに私立学校教員（正規教員）として勤務経験がある者</p> <p>〔留意事項〕</p> <p>ア 実習助手や学習支援員等、単独で授業を行わない者（特別支援学校教諭等を除く。）、学校栄養職員としての臨時的任用職員は対象外です。</p> <p>※ 要件について不明な点がある場合は必ずお問い合わせください。</p> <p>イ その月に任用期間が15日以上ある場合は、1月と数えます。ただし、会計年度任用講師の場合は月数に1/2を乗じて数えます。</p> <p>ウ 臨時的任用講師又は養護助教諭とは、法律等に基づき、県教育委員会、市町村教育委員会及び国立大学法人（この表において「県教育委員会等」という。）が期間を定めて臨時に任用する職員であって、県教育委員会等が設置する学校教育法第1条による小学校、中学校、高等学校、義務教育学校、中等教育学校及び特別支援学校（この表において「学校等」という。）に常時勤務する教員をいいます。</p> <p>エ 会計年度任用講師とは、法律等に基づき、県教育委員会等が期間を定めて臨時に任用する職員であって、県教育委員会等が設置する学校等において常時勤務することを要しない教員をいいます。</p> <p>オ 私立学校教員（正規教員）とは、学校法人等が設置する学校等で常時勤務する正規教員をいいます。</p> <p>※ 任期付き以外の正規採用の者に限る。</p>	<p>様式1 又は該当期間の辞令の写し又は委嘱状の写し</p>	第一次選考試験 教職教養
現職教員	<p>令和8年度に公立等の学校等において教諭・養護教諭・栄養教諭として勤務している者 ※ 任期付き以外の正規採用の者に限る。</p>	<p>様式1 又は現任校の辞令の写し</p>	
他県・本県元教員	<p>公立等の学校等において教諭・養護教諭・栄養教諭としての勤務実績が通算24月以上ある者</p>	<p>様式1</p>	
前年度大学3年生チャレンジ受験「合格」の者	<p>令和8年度（令和7年度実施）宮崎県公立学校教員採用選考試験大学3年生チャレンジ受験において「合格」と決定した者で、第一次選考試験の教職教養の免除を希望する者</p>	<p>合格に関する昨年度選考試験結果の写し</p>	
英語優遇措置資格を有する者	<p>小学校・中学校・高等学校教諭等英語を受験する者で、実用英語技能検定（公益財団法人日本英語検定協会）1級合格者など C E F R C I 相当（文部科学省の示した C E F R 対照表による。）以上の者</p> <p>※申込み時に要件を満たし、かつ、第一次選考試験時に有効なものに限る。</p>	<p>該当する資格に係る合格証の写し又は認定証の写し等</p>	第一次選考試験 リスニング
前年度「補欠」の者	<p>令和8年度（令和7年度実施）宮崎県公立学校教員採用選考試験において「補欠」と決定した者で、第一次選考試験の免除を希望する者</p> <p>※令和8年度採用選考試験で補欠となった教科（科目）等に限る。</p>	<p>補欠に関する第二次選考試験結果の写し</p>	第一次選考試験

様式1は、県庁HP〔令和9年度（令和8年度実施）宮崎県公立学校教員採用選考試験の実施について〕からダウンロードしてください。

(2) 特別選考試験

① 選考方法

- ア 書類選考を行い、その結果を令和8年5月27日（水）にメールを送付予定です。メールが届かない場合は、教職員課に連絡をしてください。
- イ 特別選考試験の書類選考結果が「合格」となった者は、第二次選考試験（一般選考試験と同じ。）を受験することになります。写真票及び返信用封筒については、郵送してください。詳細は受験票と併せて配付する「受験上の留意事項」を御確認ください。
- ウ 特別選考試験の書類選考結果が「不合格」となった場合、第一次選考試験（一般選考試験）において、同じ受験区分、教科（科目）等を受験することができます。

② 特別選考試験における併願受験

- ア 併願受験は可能です。第1希望が特別選考試験の対象になります（障がいのある者を対象とした特別選考試験は第2希望も対象）。併願受験を希望する場合は、**3 併願受験**で確認を行い、第2希望を選択してください。
- イ 第2希望で選択した受験区分は、別途、第一次選考試験（一般選考試験）の受験が必要です。ただし、次の各号に該当する場合は、第2希望で選択した教科を受験する必要はありません。
- (ア) 障がいのある者を対象とした特別選考試験を受験する者
- (イ) 第1希望で小学校教諭等英語・特別支援、第2希望で小学校教諭等全教科を選択した者
- (ウ) 第1希望で高等学校教諭等国語、第2希望で中学校教諭等国語を選択した者
- (エ) 第2希望で中学校教諭等音楽・家庭、高等学校教諭等家庭を選択した者

③ 申込受付期間及び提出先

- ア 申込受付期間は、一般選考試験と異なります。**6 出願手続等**で、特別選考試験の電子申請期間と書類提出期間を確認してください。
- イ 併願受験を希望する場合の申込受付期間は、特別選考試験の電子申請期間や書類提出期間と同じです。第2希望まで含めて電子申請と提出書類の郵送を行ってください。

④ 特別選考試験の種類

ア スポーツの分野に係る特別選考試験

(ア) 出願資格（以下の要件を全て満たす者）

- α **2 受験資格**を満たしている者
- β 水泳（競泳）、ウエイトリフティング、ハンドボール、ソフトテニス、相撲、フェンシング、バドミントン、カヌーの国民スポーツ大会で実施される競技（種目）種別において、大学等に在学中又は社会人として、全国レベルの大会以上の競技で優秀な成績を収め、国民スポーツ大会において入賞レベルでの活躍が期待される者

(イ) その他

スポーツ分野に係る特別選考試験に、中学校教諭等保健体育、高等学校教諭等保健体育で出願した採用候補者は、第1希望が中学校教諭等保健体育でも高等学校教諭等保健体育での採用、又は、第1希望が高等学校教諭等保健体育でも中学校教諭等保健体育での採用となる場合があります。

イ 芸術の分野に係る特別選考試験

出願資格（以下の要件を全て満たす者）

- α **2 受験資格**を満たしている者
- β 芸術の分野において特に秀でた技能・実績を有する者
- 音楽、美術、演劇等の芸術の分野において、大学等に在学中又は社会人として、世界レベルのコンクールや全国レベルの展覧会等において優秀な成績を収めた者（指導者を含む。）

ウ 他県現職教員、他県元教員及び本県元教員を対象とした特別選考試験

(ア) 出願資格（以下の要件を全て満たす者）

- α **2 受験資格**を満たしている者
- β 次のいずれかに該当する者

【他県現職教員】

本県以外の国公立の学校教育法第1条に規定される小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、中等教育学校、特別支援学校の教諭・養護教諭として、令和9年3月31日現在で2年以上（休職、育児休業等の期間を除く。）の勤務経験のある者（ただし、現在休職中でない者とする。）

【他県元教員及び本県元教員】

他県または本県の国公立の学校教育法第1条に規定される小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、中等教育学校、特別支援学校の教諭・養護教諭として令和8年3月31日現在で2年以上（休職、育児休業等の期間を除く。）の勤務経験のある者

※ 現職または元教員として勤務経験のある受験区分、教科等に限る。

※ 任期付き以外の正規採用の者に限る。

(イ) その他

一般選考試験を受験する場合、希望があれば第一次選考試験「教職教養」を免除します。希望する場合は、宮崎県電子申請システムで申込みください。なお、免除のための雇用証明書（様式1）の提出は不要です。

エ 障がいのある者を対象とした特別選考試験

(ア) 出願資格（以下の要件を全て満たす者）

- α **2 受験資格**を満たしている者
- β 身体障害者手帳、精神障害者保健福祉手帳、療育手帳のいずれかを所持している者

(イ) その他

障がいの種類や程度により、試験内容及び方法について配慮を行いますので、直接教職員課に相談してください。

オ 大学卒業予定者を対象とした特別選考試験

対象受験区分：小学校教諭等、中学校教諭等国語・理科・美術・保健体育・技術・英語、高等学校教諭等芸術（書道）・家庭・農業・工業・商業・水産

出願資格（以下の要件を全て満たす者）

- α **2 受験資格**を満たしている者
- β 令和8年度末に大学を卒業予定の者
- γ 宮崎県教育委員会が定めた大学からの推薦を受けた者

※ 詳しくは、在学している大学の御担当者にご確認ください。

カ 大学院修了予定者を対象とした特別選考試験

出願資格（以下の要件を全て満たす者）

- α **2 受験資格**を満たしている者
- β 令和8年度末に教職大学院並びに大学院修士課程又は博士課程を修了予定の者
- γ 大学院から推薦を受けた者

キ 宮崎大学教育学部（小中一貫教育コース小学校主免専攻）地域枠選考試験

出願資格（以下の要件を全て満たす者）

- α **2 受験資格**を満たしている者
- β 宮崎大学教育学部小中一貫教育コース小学校主免専攻「宮崎県教員希望枠」に所属している者
- γ 令和8年度末に大学を卒業予定の者
- δ 「育成プログラム」を受講した者
- ε 「宮崎県教員希望枠」において、大学の推薦を受けた者

ク 社会人を対象とした特別選考試験A

対象受験区分：高等学校教諭等情報・農業・工業・商業・水産

特別支援学校教諭等知的他・音楽・美術

出願資格（以下の要件を全て満たす者）

α **2 受験資格**を満たしている者

β 民間企業（私立学校・学習塾・予備校等を除く。）、官公庁等（公立学校の教員を除く。）に正規職員として継続して3年以上（令和8年3月31日現在）の勤務経験を有する者で、高等学校教諭等情報・農業・工業・商業・水産、特別支援学校教諭等知的他・音楽・美術に関する知識や技能が優れていると認められ、教員の職務を行うのに必要な熱意と識見をもっている者

※ 必要に応じて、実績を証明する書類の提出を求めています。

ケ 社会人を対象とした特別選考試験B（教員免許状【普通免許状】不要）

対象受験区分：下の表に記載の受験区分

出願資格（以下の要件を全て満たす者）

α **2 受験資格**（1）を満たしている者

β 次の表の受験区分、教科（科目）等に応じた資格・経験等の要件を満たし、教員の職務を行うのに必要な熱意と識見をもっている者

受験区分、教科（科目）等	資格・経験等
高等学校教諭等情報	<p>○大学、短期大学、高等専門学校を卒業している者</p> <p>○システムエンジニアとしてサーバー構築、ネットワーク構築、ソフトウェア開発の業務のうちいずれか一つ以上の実務経験が3年以上（令和8年3月31日現在）ある者</p> <p>○実務経験により高等学校教諭等情報に関する知識や技能が優れていると認められる者</p>
高等学校教諭等農業（栽培、畜産、食品、土木・林業）	<p>○高等学校を卒業していること又は高等学校を卒業した者と同等以上の資格を有している者</p> <p>○希望する科目等に関連する業務の実務経験が5年以上（令和8年3月31日現在）ある者</p>
高等学校教諭等工業（インテリア）	<p>○希望する科目等に関する資格を有し、希望する科目等に関する知識や技能が優れていると認められる者</p>
高等学校教諭等工業（機械、電気・電子、建築、工業化学）	<p>○大学、短期大学、高等専門学校を卒業している者</p> <p>○希望する科目等に関する業務に携わった経験が3年以上（令和8年3月31日現在）ある者</p> <p>○希望する科目等に関する資格を有し、希望する科目等に関する知識や技能が優れていると認められる者</p>
高等学校教諭等水産（機関）	<p>○3級以上の海技士（機関）の海技免状を所有している者</p> <p>○本免許状に基づく実務経験が、3年以上（令和9年3月31日現在）ある者</p> <p>○その実務経験により高等学校教諭等水産（機関）に関する知識や技能が優れていると認められる者</p>

コ 博士号取得者を対象とした特別選考試験（教員免許状【普通免許状】不要）

対象受験区分：高等学校教諭等農業・工業・水産

出願資格（以下の要件を全て満たす者）

α **2 受験資格**（1）を満たしている者

β 志願する教科に関連する博士号を有する者

※ 教員免許を有さず、採用候補者として登録された場合、宮崎県教育委員会が実施する特別免許状授与のための教育職員検定に合格し、特別免許状の授与を受ける必要があります。

※ 特別免許状授与申請には、検定手数料及び授与手数料が必要となります。また、必要に応じて、実績を証明する書類の提出を求めています。

※ 特別免許状についてのお問合せは教職員課管理担当（TEL：0985-26-7240）へお願いします。

⑤ 出願に必要な提出書類等

対 象	提出書類等
ア スポーツの分野	① 令和９年度 技能・実績証明書（スポーツ特別選考試験・芸術特別選考試験（様式２）） ② ①を証明できるもの（証明書、賞状等）
イ 芸術の分野	① 令和９年度 技能・実績証明書（スポーツ特別選考試験・芸術特別選考試験（様式２）） ② ①を証明できるもの（証明書、賞状等）
ウ 他県現職教員、他県元教員及び本県元教員	① 令和９年度 特別選考試験自己推薦書（様式３） ② 雇用証明書（様式４）
エ 障がいのある者	① 令和９年度 障がいのある者を対象とした特別選考試験証明書（様式５）
オ 大学卒業予定者	① 大学作成の推薦書（様式６ 厳封のこと） ② 令和９年度 特別選考試験自己推薦書（様式３）
カ 大学院修了予定者	① 大学院作成の推薦書（様式７ 厳封のこと） ② 令和９年度 特別選考試験自己推薦書（様式３）
キ 宮崎大学教育学部地域枠	① 大学作成の推薦書（様式８ 厳封のこと） ② 令和９年度 特別選考試験自己推薦書（様式３）
ク 社会人対象Ａ	① 令和９年度 社会人を対象とした特別選考試験自己推薦書（様式９）
ケ 社会人対象Ｂ ※ 全教科共通	① 令和９年度 社会人を対象とした特別選考試験自己推薦書（様式９）
高等学校教諭等情報	② 最終学歴を示す卒業証明書等 ③ ３年以上の実務経験を証明するもの（職種及びその職における従事期間の記載がある雇用証明書等）
高等学校教諭等農業（栽培、畜産、食品、土木・林業） 高等学校教諭等工業（インテリア）	② 最終学歴を示す卒業証明書等 ③ 希望する科目等に関する資格の合格証書等の写し ④ ５年以上の実務経験を証明するもの（雇用証明書等）
高等学校教諭等工業（機械、電気・電子、建築、工業化学）	② 最終学歴を示す卒業証明書等 ③ 希望する科目等に関する資格の合格証書等の写し ④ ３年以上の実務経験を証明するもの（雇用証明書等）
高等学校教諭等水産（機関）	② ３級以上の海技士（機関）の海技免状の写し ③ ３年以上の実務経験を証明するもの（雇用証明書等）
コ 博士号取得者	① 令和９年度 博士号取得者を対象とした特別選考試験証明書（様式１０） ② 学位記等の写し ③ 研究内容を証明する資料（論文等の写し）

各様式は、「令和９年度 宮崎県 教員採用」でWeb 検索し、[令和９年度（令和８年度実施）宮崎県公立学校教員採用選考試験の実施について] からダウンロードしてください。

第二次選考試験

(1) 期日

令和8年7月25日（土）から令和8年8月2日（日）までのうち、指定された1日で実施します。詳細については、後日、第一次選考試験合格者及び特別選考試験合格者に通知します。

(2) 試験会場（予定）

会 場	所 在 地
宮崎東高等学校	宮崎市神宮東1丁目2番42号

※ 会場への連絡は原則としてできません。当日に緊急事態があり、会場への連絡を必要とする場合には、後日お示しする連絡先をお願いします。

(3) 試験内容

① 面接シートの事前作成について

志望動機等について、事前に電子申請で回答いただきます。詳細は第一次選考試験の合格者に通知しますので、御確認ください。

② 「個人面接」、「模擬授業」、「グループワーク」

ア 「模擬授業」の領域、単元名等については、第二次選考試験受験者へ事前にお知らせします。

イ 小学校教諭等全教科の「模擬授業」は、国語科、算数科、道徳科のいずれかで実施します。

小学校教諭等英語・特別支援の「模擬授業」は、それぞれ専門の内容で実施します。

ウ 中学校教諭等技術、高等学校教諭等情報は、ICT端末（パソコン、タブレット端末等）を用いた「模擬授業」を実施します。詳細は、第二次選考試験受験者へ事前にお知らせします。

エ 「グループワーク」は、数名のグループで協力して課題に取り組むものです。

オ 第一次選考試験で第1希望と第2希望の両方に合格した併願受験者は、第1希望の受験区分のみで「模擬授業」を受験し、第1希望の「模擬授業」の得点により第2希望の可否を判定します。

③ 実技試験（詳細は第二次選考試験のお知らせを郵送）

受験区分	内 容
小学校教諭等英語 中学校教諭等英語 高等学校教諭等英語	外国語科で活用する英会話 ※内容は当日発表
中学校教諭等音楽 高等学校教諭等芸術（音楽） 特別支援学校教諭等音楽	初見演奏、ピアノ伴奏付歌唱、自由演奏（声楽、ピアノ、管弦打楽器、和楽器の演奏のうち任意の1曲）
中学校教諭等美術 特別支援学校教諭等美術	平面作品の制作
高等学校教諭等芸術（書道）	漢字の古典臨書、仮名古筆の臨書、画仙紙（半切）による創作
養護教諭	救急処置等に関する実技 ※内容は当日発表

(4) 第二次選考試験の配点等

① 評価する観点

ア 模擬授業・個人面接

教員としての適性、専門的知識・技能、授業構成力、指導方法・手立ての工夫等の実践的指導力等を総合的に評価します。教職教養を含め、教育者としての使命感や意欲、幅広い社会性や人間性等を総合的に評価します。

イ グループワーク

課題に基づくグループワークを通して、コミュニケーション能力や社会性、教養の豊かさや人間性等を総合的に評価します。

ウ 実技試験

必要な専門的技能、課題解決への意欲等、実技に関する能力を総合的に評価します。

② 配点

内 容	小学校		中学校			高等学校			特別支援学校		養 護 教 諭
	全教科 特別支援	英語	英・音・ 美以外	英語	音楽 美術	英・書・ 音・以外	英語	音楽 書道	知的他	音楽 美術	
模擬授業	30点	30点	30点	30点	30点	30点	30点	30点	30点	30点	30点
個人面接	30点	30点	30点	30点	30点	30点	30点	30点	30点	30点	30点
グループワーク	30点	30点	30点	30点	30点	30点	30点	30点	30点	30点	30点
実技試験		10点		10点	30点		10点	30点		30点	10点
合計	90点	100点	90点	100点	120点	90点	100点	120点	90点	120点	100点

(5) 第二次選考試験実施上の注意事項等

- ① 試験中は会場から外出できませんので、必要に応じて飲み物・昼食の準備をしてください。
- ② 試験時間中は、携帯電話、パソコン、スマートフォン、スマートグラスやスマートウォッチ等のウェアラブル端末、電子辞書、ICレコーダー等の電子機器は、試験室内に持ち込めません。
- ③ 服装については、クールビズとします。上着、ネクタイ等を着用する必要はありません。
- ④ 宮崎東高校の駐車場は利用できません。送迎の場合、会場周辺での乗降は、交通渋滞のおそれがあるため避けてください。

その他（特別支援学校教諭等音楽・美術の選考試験）

(1) 選考試験

第一次選考試験は、特別支援学校教諭等の筆答試験「専門（特別支援学校）」を行います。

第二次選考試験は、音楽、美術の実技試験を行います。この他の試験は、特別支援学校教諭等知的他と同じ内容とします。

(2) 選考方法等

第一次選考試験において、特別支援学校教諭等音楽・美術の合格者にならなかった場合でも、特別支援学校教諭等知的他での第一次選考試験合格者とする場合があります。また、第二次選考試験において、特別支援学校教諭等音楽・美術の合格者にならなかった場合でも、特別支援学校教諭等知的他での合格者とする場合があります。

6 出願手続等（一般選考試験、特別選考試験）

必ず電子申請システムでの申込みが必要です。手続期間を過ぎての入力はできません。

なお、令和9年度（令和8年度実施）宮崎県公立学校教員採用選考試験から出願手続が変更になりましたので、御注意ください。

Step 0 電子申請システムの利用にあたってはメールアドレスの登録が必須となります。御提供いただいたメールアドレスは、試験の延期・中止の連絡や、自然災害など緊急時の重要なお知らせのために使用いたします。

過去にはメールアドレスの入力不備により、連絡が届かず受験者さまに御迷惑をおかけした事例がございます。つきましては、以下の点に十分ご注意ください、必ず正確なメールアドレスをご入力くださいますようお願いいたします。

ア メールアドレスは誤字や入力ミスのないよう、再度御確認ください。

イ 受験当日まで、どこからでもアクセス可能で通知を受け取れるメールアドレスを御登録ください。

ウ 携帯電話のキャリアメールの場合、迷惑メール設定により受信拒否される恐れがありますので、設定の確認をお願いいたします。

エ 受信容量によりメールが受信できない恐れがありますので、容量を空けてください。

オ 御登録いただいたメールアドレスをやむを得ず変更する場合、速やかに教職員課人材育成担当(0985-26-7241)まで御連絡ください。

Step 1 県ホームページのリンクからアクセスし、必要な事項を手続期間内に入力してください。

申込みが完了すると、「申請受け付けのお知らせ」が登録したメールアドレスに届きます。

Step 2 加点申請者、一部試験免除希望者及び特別選考試験受験者は、提出書類を期間内に郵送してください。

必要事項入力期間（電子申請システム）	書類提出期間（封書による郵送）
【一般選考試験】 令和8年4月 1日（水）から 令和8年4月30日（木）正午まで	【一部試験免除に係る根拠書類】 令和8年4月 1日（水）から 令和8年5月 8日（金）当日消印有効
【特別選考試験】 令和8年4月 1日（水）から 令和8年4月27日（月）正午まで	【加点申請に係る根拠書類】 令和8年4月 1日（水）から 令和8年5月29日（金）当日消印有効 【特別選考試験に係る提出書類】 令和8年4月 1日（水）から 令和8年4月30日（木）当日消印有効

Step 3 令和8年5月29日（金）に受験票、写真票、返信用封筒貼付紙及び「受験上の留意事項」を配信します。印刷し、写真票への写真貼付及び返信用封筒の準備をしてください。詳細は「受験上の留意事項」を御確認ください。

(1) 電子申請における留意事項

- ① noreply@mail.graffer.jpからのメールを受信できるよう、端末を設定してください。
- ② 外字等、該当する文字が入力できない場合は、類似した文字を入力してください。
- ③ 申請作業中一定時間入力がない場合、システムが強制終了する場合がありますので御注意ください。（Graffer アカウントでログインした場合は一時保存が可能です。）
- ④ 送信内容に訂正が生じた場合、複数回登録してしまった場合は以下のフォームから御連絡ください。

外部リンク：[訂正・重複登録対応フォーム](#)

【二次元コード】



(2) 出願の手順

別紙の出願手続案内を参考にしてください。

(3) 書類の提出方法

加算申請者、一部試験免除希望者及び特別選考試験受験者は、「提出書類確認表」と提出書類を封筒に入れて簡易書留で郵送してください。封筒の表には、「出願封筒貼付用紙」をしっかりと糊付けして提出してください。

各様式は、「令和9年度 宮崎県 教員採用」で Web 検索し、[令和9年度（令和8年度実施）宮崎県公立学校教員採用選考試験の実施について]からダウンロードしてください。

(4) 提出書類の送付先

宮崎県教育庁教職員課 人材育成担当
〒880-8502 宮崎市橘通東1丁目9番10号 TEL 0985 (26) 7241

7 選考結果の通知

- (1) 選考試験の可否は、全員に通知します。（第一次選考試験可否については、令和8年7月6日（月）発送予定。第二次選考試験可否については、令和8年9月11日（金）発送予定。）

なお、発送日に合格者の受験番号を県ホームページに掲載します。

- (2) 第一次選考試験及び第二次選考試験において、不合格者全員に各試験の得点、総合得点をお知らせします。

- (3) 採用するのにふさわしくない非違行為があった場合や申込内容等に詐称があった場合は、内定を取り消すことがあります。

- (4) 令和9年4月1日時点で免許状を取得できない場合（加点も含む）は、内定を取り消すことがあります。免許状取得が難しい状況になった者は速やかに連絡をください。

- (5) 内定者は、令和8年12月25日までに施行予定の学校設置者等及び民間教育保育等事業者による児童対象性暴力等の防止等のための措置に関する法律に基づく犯罪事実確認に必要な手続き等に対応してください。詳細は別途連絡いたします。

8 補欠制度

採用内定者に欠員が出た場合等に、令和9年度（令和8年度実施）宮崎県公立学校教員採用選考試験における第二次選考試験の不合格者のうち「補欠」と決定した者を、採用内定者とする場合があります。

また、「補欠」と決定した者で、採用内定者とならなかった場合は、次年度（次年度採用がなかった場合は直近で実施する年度）の宮崎県公立学校教員採用選考試験における「補欠」の受験区分、教科（科目）等に限り、申請があれば、第一次選考試験を免除します。

なお、「補欠」の有無は、第二次選考試験の結果通知と併せて行います。

併願を希望する場合、「補欠」が適用されない受験区分、教科（教科）等においては、第一次選考試験において、通常の試験を受験する必要があります。

9 大学院修士課程等在籍者又は進学者に対する採用猶予

採用内定者が、大学院修士課程又は専門職学位課程（教職大学院）への修学継続又は進学を希望する場合、本人の申出により、以下の要件を満たした者には「名簿登載による1年間又は2年間の採用猶予」を認めます。

	令和8年度に大学院修士課程に在籍している者が1年間の採用延期をする場合	令和9年度に大学院修士課程に進学する者が2年間の採用延期をする場合
普通免許状について	受験区分に応じた普通免許状を取得している者、又は令和9年3月末日までに取得見込の者	
専修免許状について	令和10年3月末日までに、受験区分(教科等)の専修免許状を取得見込の者	令和11年3月末日までに、受験区分(教科等)の専修免許状を取得見込の者
申請について	・電子申請システムで「希望有り」を選択 ・第二次選考試験合格後「令和9年度 大学院等在籍者の特例申請書」（様式11）及び在学証明書を速やかに提出	・電子申請システムで「希望有り」を選択 ・第二次選考試験合格し、大学院に進学することが決まった場合には、「令和9年度 大学院等進学者の特例申請書」（様式12）を速やかに提出

※ 延期期間終了までに大学院修士課程を修了できず、専修免許状を取得できない場合、内定を取り消すことがあります。

※ 延期期間終了までに採用するのにふさわしくない非違行為があった場合は、内定を取り消すことがあります。

10 キャリアチェンジに伴う免許取得のための採用猶予

採用内定者が「キャリアチェンジに伴う採用猶予」を希望しており、以下の要件を満たした者には、「名簿登載による最大3年間の採用猶予」を認めます。

- (1) 小学校教諭等全教科・英語・特別支援、中学校教諭等国語・理科・美術・音楽・技術・家庭を一般選考試験で受験した採用内定者
- (2) 受験区分（教科等）の隣接校種の普通免許状（例1：小学校教諭等を受験する場合は幼稚園教諭又は中学校教諭の普通免許状、例2：中学校教諭等国語を受験する場合は小学校教諭又は高等学校教諭国語の普通免許状）を所有している者で受験区分（教科等）に応じた普通免許状を令和12年3月末日までに取得見込の者
- (3) 電子申請システムでの必要事項入力で希望確認があるので、「希望有り」を選択してください。第二次選考試験合格者となった場合には、「令和9年度 免許取得に伴う特例申請書」（様式13）を速やかに提出してください。提出期限は10月末頃とします。次年度以降毎年8月に採用猶予の確認を行いますので、御回答ください。

※ 延期期間終了までに受験区分（教科等）の普通免許状を取得できない場合、内定を取り消します。

※ 延期期間終了までに採用するのにふさわしくない非違行為があった場合は、内定を取り消すことがあります。

11 妊娠者に対する採用猶予

採用年度に出産予定の者については、希望により採用を猶予することができます。

採用選考申込み時に妊娠中の方、又は申込み以降に妊娠が判明した方は **12 問合せ先** に御相談ください。

12 問合せ先

宮崎県教育庁教職員課 人材育成担当
〒880-8502 宮崎市橘通東1丁目9番10号 TEL 0985 (26) 7241

外部リンク：[問合せフォーム](#)

【二次元コード】





宮崎県教員採用選考試験に関するLINE公式アカウントはこちら →



宮崎県教員採用選考試験に関する特設ホームページはこちら →

